

センター池のカメが冬眠から目覚め、池を泳いでいます。

2月28日に開催されたフォーラムの森のイベントで、サクラの植樹がありました。一葉や兼六園菊桜等の品種や、後述のカンヒザクラやエドヒガン等の野生種も植えられました。今年のさくら祭り（3/28（土）～4/26（日））では一味違ったサクラの姿が楽しめそうです。期間中、緑の相談所では、緑化センターで見られる様々なサクラの写真を展示していますので、ご来園の際にはぜひ緑の相談所に足を運んでみてください。

また、4月12日（日）には「さくら祭りお楽しみイベント」を開催します。さくら餅や草花の販売や、木のぼり体験、ノルディック・ウォーク等、春を満喫できる催しが盛りだくさんです。ぜひお越しください。

★サクラ開花情報

カンヒザクラ（寒緋桜）バラ科サクラ属（写真1左）

中国大陸中南部や台湾に自生するサクラで、沖縄県の石垣島にも自生地があり、国の天然記念物に指定されています。花は濃いピンク色で垂れ下がり、平開しません。全国各地のサクラの開花観測の樹種は染井吉野ですが、染井吉野の生育が困難な沖縄県では、花卉がやや平開するリュウキュウカンヒザクラが用いられ、観賞用としてたくさん植栽されています。

場所：林間広場、管理事務所上のり面、管理事務所横のり面

河津桜 サクラ品種（写真1右）

前述のカンヒザクラを片親とする品種で、もう一方の親はオオシマザクラと考えられます。静岡県河津川沿いで偶然発見された苗を、静岡県河津町の民家に移植し、後に河津桜と命名されました。今でもこの民家には原木があり、河津町では原木から増殖したものが8000本以上も植栽され、毎年2月下旬から3月上旬にかけてたくさんの花を咲かせています。

場所：第5駐車場前展望広場、レストハウス前、多目的広場のり面

寒桜 サクラ品種（写真2左）

カンヒザクラとヤマザクラの種間雑種と考えられる早咲き品種で、花卉は淡紅色で平開します。寒さに弱いので、東京以北では生育が良くないものも多いようです。

場所：多目的広場のり面

★園内サクラ情報

咲き始め	修善寺寒桜
見頃	十月桜、冬桜、河津桜、寒桜、カンヒザクラ

★その他園内開花情報

ハナノキ（花の木）カエデ科カエデ属（写真2右）

木曾川流域に局所的に自生する珍しい樹で、国の天然記念物に指定されている自生地もあります。ハナカエデとも呼ばれ、展葉前の花、新芽、紅葉と年に3度、樹全体が紅く染まります。雌雄異株で3月終わりから4月にかけて花弁のない赤い花を咲かせます。開花期は短く、2~3日で散ってしまいます。

場所：県木の森入口、ハナノキの道

キブシ（木五倍子）キブシ科キブシ属（写真3左）

キブシ科はキブシ属1属からなる科で、ヒマラヤから日本にかけて6種が自生しています。

キブシは日本固有種の落葉低木で、雑木林や林縁などの日陰で湿り気のある場所を好みます。3~4月の展葉前に長さ3~10cmの総状花序が垂れ下がって小さな黄色い花を多数咲かせます。離れて見ると珠のれんの様でとても目立ちます。各地で変種が見られます。

場所：第2駐車場、園路沿い

オオバヤシャブシ（大葉夜叉五倍子）カバノキ科ハンノキ属（写真3右）

福島県以南に生育し、崩壊地等のやせ地でもよく育つため、砂防用やはげ山の緑化等に用いられます。ヤシャブシの仲間のほとんどは枝先に雄花がつきますが、オオバヤシャブシだけは枝先に葉がつき、その下に雌花序、雄花序の順につきます。

場所：第5駐車場向かい、東山作業路 他山林内

その他の開花情報等

開花	アテツマンサク、マンサク（数輪）、ウメ（紅、白）、ヤブツバキ、サザンカ、ツバキ品種、アセビ、シキミ、キャラボク、ダンコウバイ、アブラチャン、アオモジ、トサミズキ、ヒュウガミズキ、ミツマタ、ネコヤナギ、コリヤナギ、ヒサカキ 他
----	--



写真1左 カンヒザクラ（林間広場） H27.3.24



写真1右 河津桜（展望広場） H27.3.24



写真2左 寒桜 (多目的広場のり面) H27.3.24

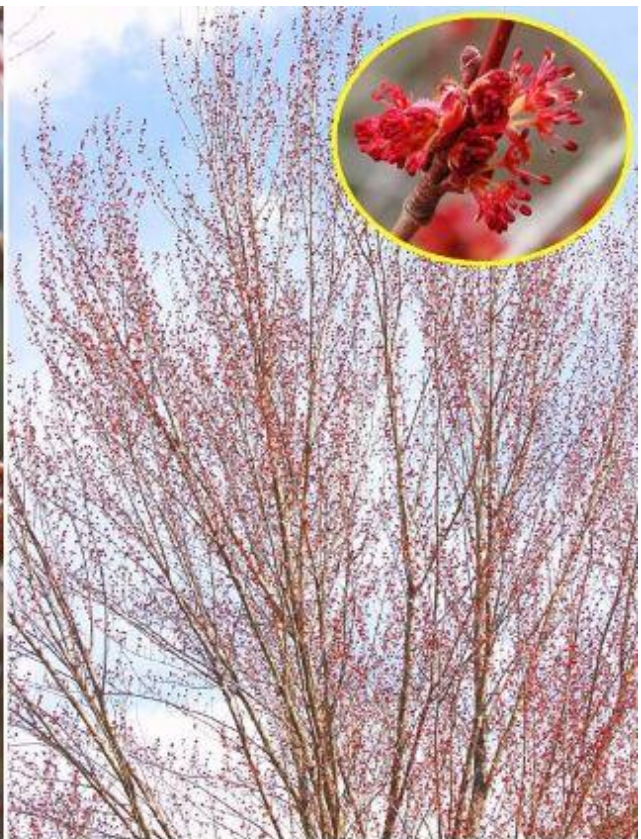


写真2右 ハナノキ (県木の森入口) H27.3.24



写真3左 キブシ (第2駐車場) H27.3.24



写真3右 オオバヤシャブシ (展望広場) H27.3.24